



Person 01

宮城教育大学附属幼稚園 教諭

横山 さやか

Sayaka Yokoyama

- 2008年 学校教育教員養成課程(T課程)
国語教育専攻 卒業



毎日が新しい発見と感動に満ちている

「先生、早く来て!葉っぱが勝手に動いてるんだ!」

慌てた様子で私を呼びに来たクラスの男の子。園庭に出てみると、砂の上に葉っぱが一枚。風もないのにかすかに動いているようです。噂を聞きつけたクラスの子どもたちと顔を寄せ合い、興奮して見ていると、葉っぱの下から一匹のダンゴムシが…。

葉っぱのマジックの真相は小さな生き物の仕業だとすぐにわかりましたが、私に教えに来てくれた子どもの顔は驚きと興奮に満ち、そして教師である私にもワクワクする気持ちを感じさせてくれました。子どもたちと一緒に、草をかき分けて虫を探したり、花を摘んだり、園庭を駆け回って遊んでいると、日々楽しい発見や感動に出会います。そしてその発見や感動の中に学びがたくさんつまっているのです。それは決して教師が教え込んだことではありません。自分で見つけ、夢中で遊ぶ中で学びとっていくのです。

それをサポートしていくのが教師の役目です。どんな素材や道具を準備したらよいのか、どんな声掛けをしたらよいのか等、日々試行錯誤しています。自分のした援助が常に効果を発揮するわけではないけれど、いつかその子の成長の役に立つ日がくるかもしれない、それを信じて子どもたちと接しています。小さなことを一つひとつ発見しながら、成長していく子どもたちの姿を見るのは楽しくてしかたがありません。一緒に発見し、感動し、成長していくことができる、それが教員の魅力だと感じています。